

伝わる！ 集団活動・一斉指示の進め方



ヒトツナ大袋教室

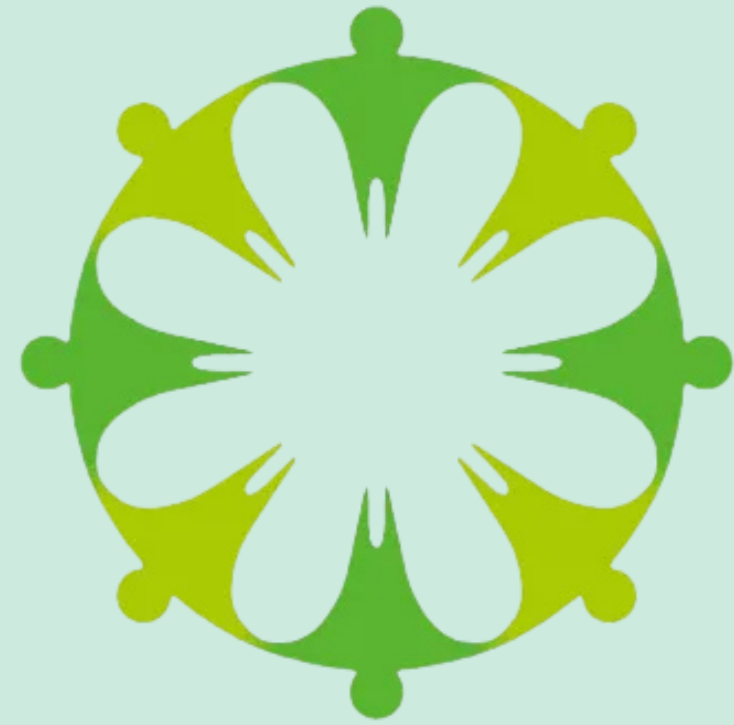
橘



目次

- 自己紹介
- 研修の目的
- 児発／放デイでよくある困りごと
- 集団療育をすすめるにあたって
 - ・なぜ集団参加が難しいのか
 - ・注目を引くための方法
 - ・すぐできる実践！
- ケース検討
- おわりに





－ 自己紹介 －

橘 健太（たちばな けんた）

平成4年9月11生まれ O型

神奈川県川崎市出身

【経歴】

- ・ 小学校教員（普通級4年生を担当）
- ・ 日本テレビアート（テロップの校正）
- ・ 児童発達支援／放課後等デイサービス従事
（管理者・児童発達支援管理責任者を兼務）

令和6年6月に横浜市運営指導を受ける

送迎のない個別療育／SSTが中心の小集団療育



- ・ ヒトツナ大袋教室（令和6年10月～現在）
- ・ 就学準備クラス／5領域にかかわる遊びの提案業務・直接支援に従事
- ・ 運営指導前、開所時のSVとして
各教室を訪問

本研修の目的

- こどもたちに「伝わる」指示を知る
- こどもたちが興味を引く提示の方法を知る
- 「伝える」前段階を理解する
- 教室内的『環境』を捉え直してみる

※この研修だけで、教室の集団活動が劇的に変わるわけではありません！

(この理由については、のちほど判明します。)



ヒトツナの理念とは？

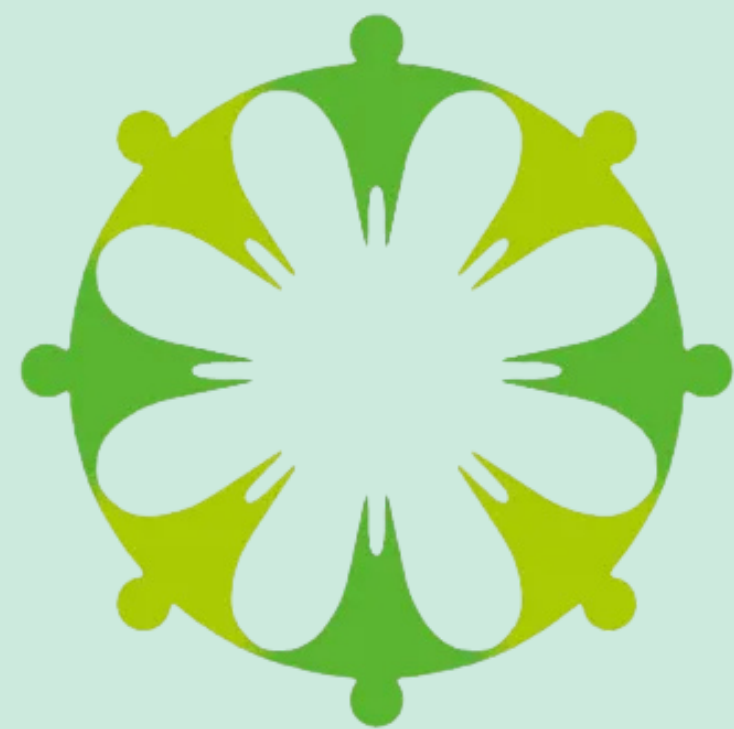
“人と人との繋がりを大切に”

“人との繋がりをもっと楽しく”

豊かな感受性と表現力を育てる

→ 集団の中の個を尊重する

ーはじめにー



**児童発達支援
放課後等デイサービス
での困りごとは？**

突然ですが…質問です！

児童発達支援／放課後等デイサービス（以下、児発／放デイ）を運営するうえで欠かせないのは、「プログラム」！

Q. そのプログラムや支援の中で、具体的にどんなことで困り感を感じていますか？突然ですが…児発／放デイでそれぞれ悩みは異なると思いますが、まずはざっくばらんに話してみてください。



話し合いのグラウンドルール

- ・ **受容する**

= 即時否定しない

→ 虐待・身体拘束につながる
こと以外は認めていく

- ・ **端的に説明する**

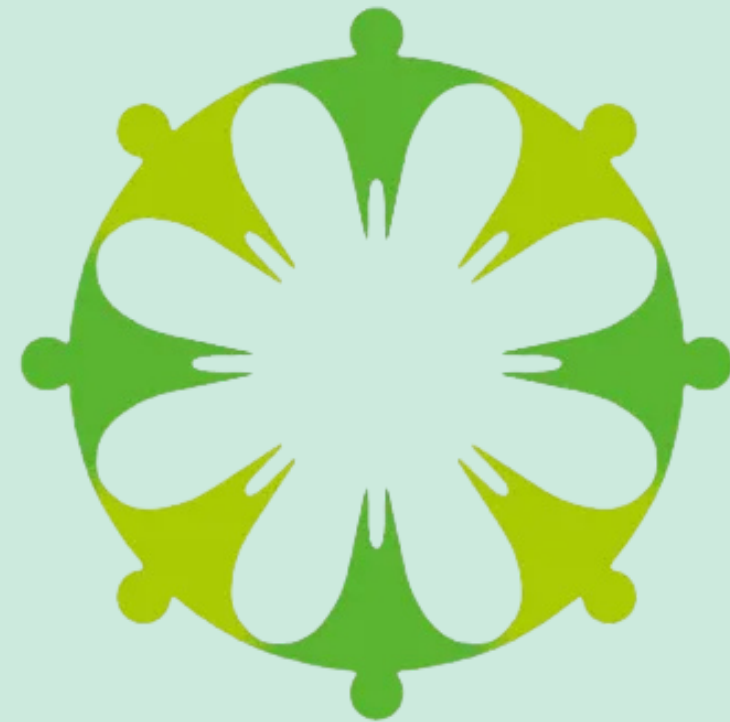
= 時間を独占しない

→ 全員が「話す」「聞く」
を役割交代する

- ・ **子どもをまんやかに**

= 最善の利益を保障する

→ 常に子どもが楽しい・やってみたい！と思える議論



たとえば…児発は



- ・ことばにならない泣き叫びで、周囲に影響がある💧
- ・こちらの意図を持った行動をなかなかとってはくれない…
- ・そもそも集団参加の概念が習得されていない
(人と何かを取り組む前段階のお子様もいる)

たとえば…放デイでは



- ・活動前に走り回っていて、座ってくれない💧
- ・勝敗がつくような遊びになると、とたんに参加してくれない…

こういった状況を経験する毎日ではないでしょうか？

今日は…

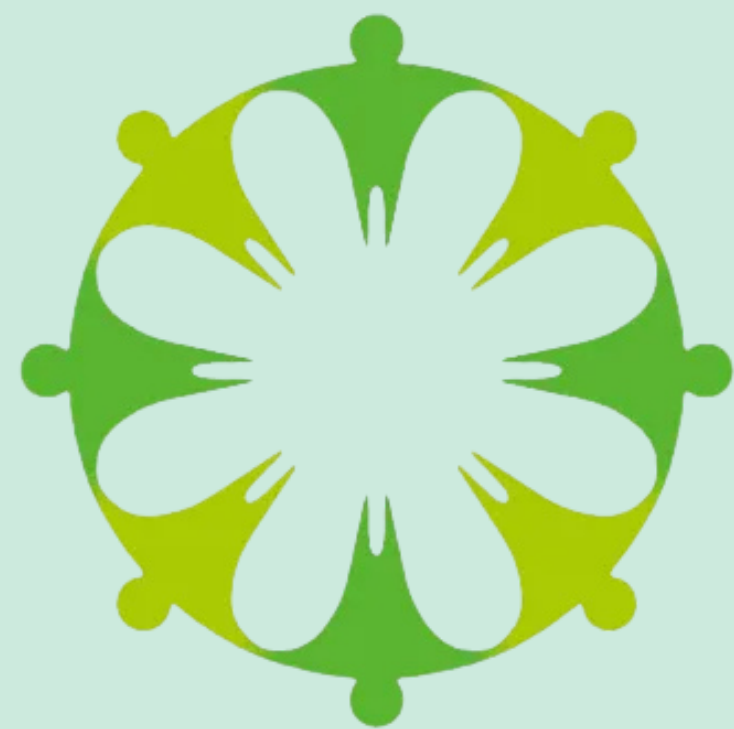


**まずは、研修にご参加いただきありがとうございます♪
色々な事業所の苦勞を乗り越えての工夫などがあったかと思いますので
自事業所での共有にとどまらず、他事業所の工夫や良いところを共有し
て今日以降の支援に活用していただければと思います。**



今日は…

- ・ 私からは、「遊びの発展」を考える視点について伝えます
- ・ リードとして惹きつける展開の方法を具体的に説明します
- ・ 集団療育の例をお伝えします
- ・ よくあるこどもたちの行動から、どのように集団参加してもらうかについて話し合います



集団療育をすすめる にあたって

どうして集団参加が難しい？

集団へと主体的に身体や意識を向けられるようにするためには、お子様自身なりの**準備**があります。

なぜ、その準備が遅れて、集団への切り替えが難しかったのかについて議論を深めていくことが何より大切です。しかしながら、その議論を深めるための**材料**が必要…。

→その子にとっての環境調整を行なったり、それぞれの教室における「**集団参加**」の意味を問い直したりするきっかけにしてください。



集団参加に時間を要する理由

●お子様のもつ特性から、集団参加へのむずかしさを考える

・まずは、教室内で話し合ってみましょう！

○ADHD傾向のお子様

○知的に遅れのみられるお子様

○ASD傾向のお子様

どのような困難さが考えられるでしょうか？

集団参加に時間を要する理由

●お子様のその日の調子などから、集団指導への難しさを考える

・まずは、教室内で話し合ってみましょう！

○幼稚園・保育園・小学校が終わった後

○学休日・土曜日・祝日で自宅送迎後

どのような困難さが考えられるでしょうか？

集団参加に時間を要する理由

●ADHD傾向のお子様

- ・ 注意を持続することが困難である
- ・ 課題を始めるがすぐに集中できなくなる、飽きが来るスパンが早い
- ・ 精神的努力の持続を要する課題に従事することを嫌い、待つことが難しい
- ・ しばしば外的な刺激によってすぐ気が散ってしまう



集団参加に時間を要する理由

●ADHD傾向のお子様

- ・ いすの上でもじもじする。
- ・ 席についていることが求められる場面で離席する。
- ・ 走り回ったり高い所へ登ったりする。
- ・ 静かに遊んだりする活動の持続に課題がみられる。
- ・ 自分の順番を待つことが困難である。
- ・ 他人を妨害し、邪魔する。



集団参加に時間を要する理由

●ASD傾向のお子様

- ・ 見通しがないことに対する不安からくるパニック・痙攣・立ち歩きがみられる
- ・ 曖昧な指示理解に困難さがみられる
- ・ 聴覚情報処理の弱さがみられる（相手への興味、意識が薄い）
- ・ 興味の有無による参加への態度の波が大きい
- ・ 感覚特性からくる参加の困難さがみられる

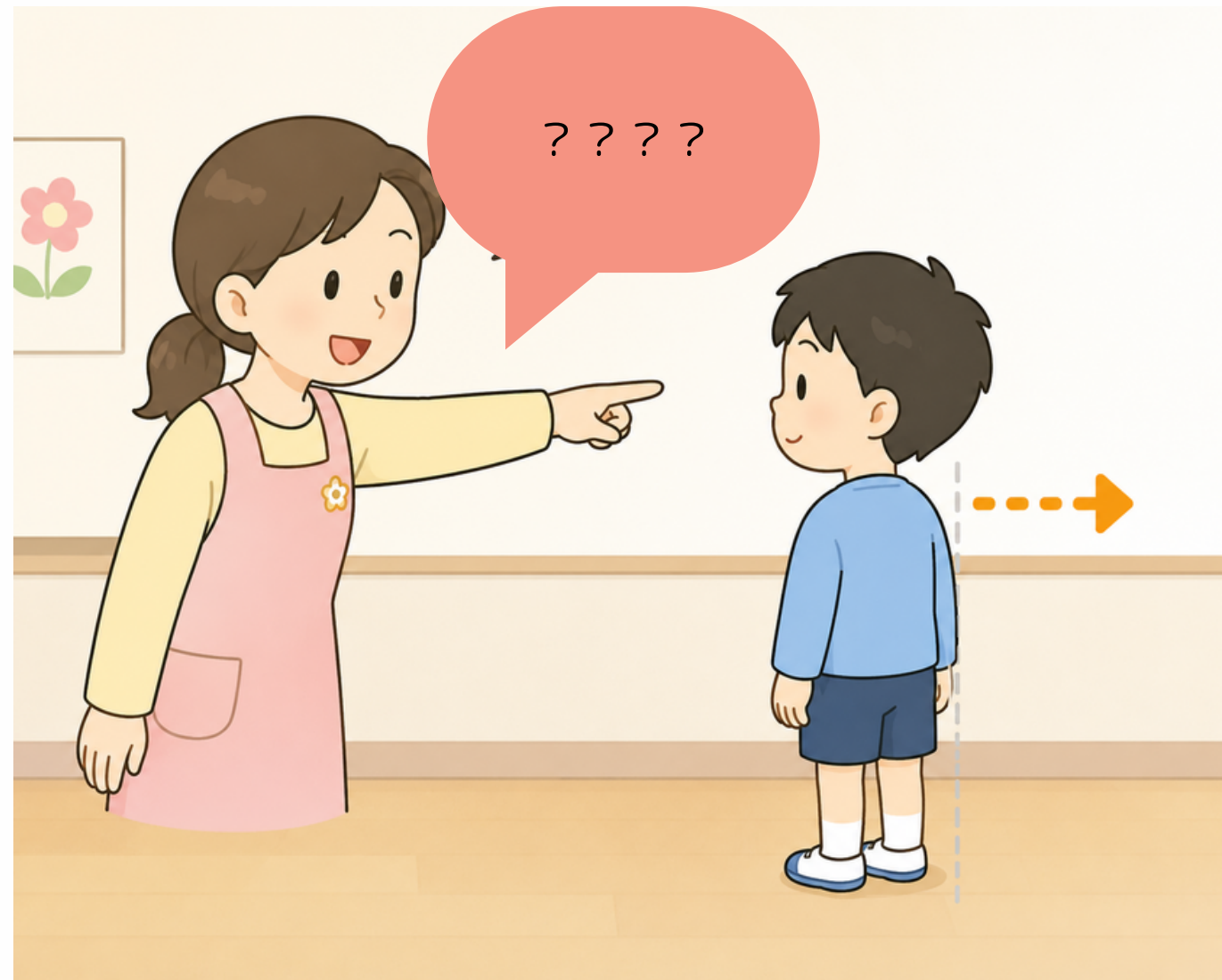


集団参加に時間を要する理由

●知的な遅れのみられるお子様

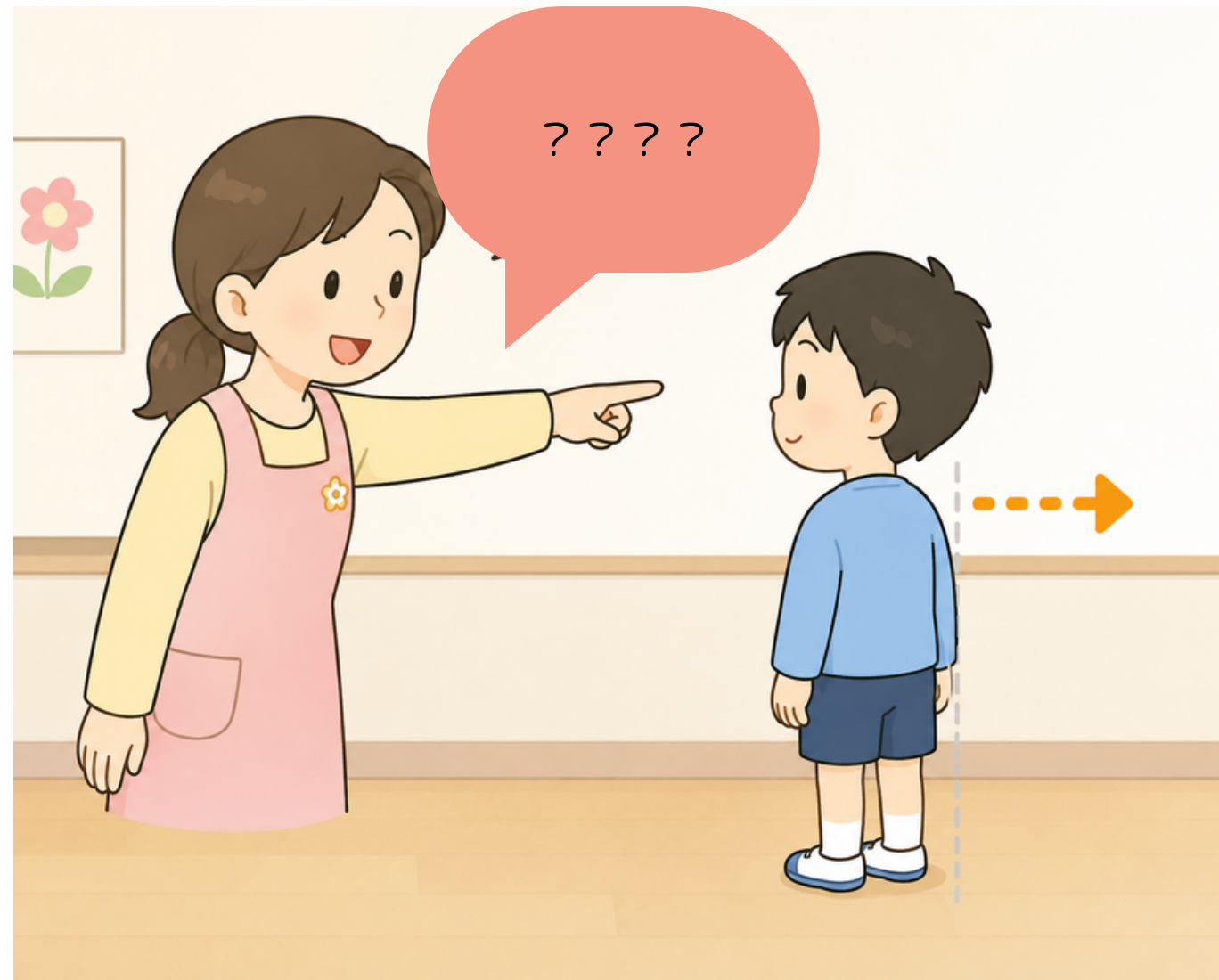
- ・口頭指示の内容を理解することが難しい
- ・指示を理解してから（咀嚼してから）、行動を起こすのに時間を要する
- ・同時処理的な活動・行動をとることが難しい
- ・長い説明を記憶にとどめておくことが難しい

集団参加に時間を要する理由



Q.こんなとき何と伝えますか？

集団参加に時間を要する理由



**Q.もし言語での指示を理解
することが難しいお子様に対
してはどう対応しますか？**

集団参加に時間を要する理由

●その日の調子による集団参加への困難さ

○放課後

- ・先生に注意されたのがショックだった
- ・友達とケンカしてしまった
- ・プールがあって、疲労が溜まっている
- ・嫌いな給食だった
- ・みんなからちやほやされて嬉しすぎた
- ・学校のテストで100点取った！

○学休日

- ・お母さん／お父さんに「早くしなさい！」と言われた
- ・ヒトツナから帰った後は、家族でお出かけすると言われている

集団参加に時間を要する理由

●こどもは、毎週、毎日、毎時間変化する

- ・特性（定数）だけではなく、自由時間などの時間を活用する。

- ・その日の調子（変数）を知り、最も集団参加を引き付けるための方策をリード・プロンプターは考える必要があります。

集団参加への工夫



送迎に行くや否や、「お腹空いてイライラする！！！」と言っています。

ヒトツナでは、はじまりの会（①日付の確認、②出席したこどもの呼名、③先生の名前を呼名、④今週のひらがな1文字を学ぶ、⑤その日の予定を確認する）を行なった後に、手洗いをしておやつをとっています。

集団参加への工夫



Q.では、仮にこの子がいち早く集団参加への意識が向くためには、どのような工夫が必要でしょうか？

【ポイント】

- ・自由時間を用いて、他のお子様へどのようにアプローチするか？
- ・はじまりの会をどのように工夫するか？

集団参加への工夫

- ・自由時間を用いて、他のお子様にはじまりの会の進行が変更することを事前に伝える（ASD傾向のお子様への事前告知で「いつもと違う」への不安を軽減）
- ・【児発】 はじまりの会のうち、今週のひらがなの学びと予定の確認の時間を、「おやつを食べる時間」で確認する
- ・【放デイ】 入室時間が異なるお子様であれば、おやつ→（宿題→） 集団参加の順番へと交渉する余地を設ける



リードのアテンションゲット

集団療育を円滑に進めるためには、「リード」自身が、「人的環境」であることを認識する必要があります。

リードの先生に対して注目してもらうためには…。

- ①一斉指示のユニバーサルデザインを理解し、実践する
- ②視覚支援を効果的に活用する
- ③提示物を出すタイミングを知る
- ④望ましい声掛けをベースに指示を出す
- ⑤すぐできる実践！



注目を引くための方法

①一斉指示のユニバーサルデザイン8原則



①**注意喚起の原則**：話し始める前に十分に注意を引きつける

例：「上手に座れている人はいるかな～？」「○○さん、準備バッチリだね！」

②**一指示・一行動の原則**：一度に受け止められるだけの量を伝える

例：「マットの上に座ります。」→座る→「先生が話します。」→話し始める

③**冗句不使用の原則**：話し方の癖に気を付ける

例：「～～だって言ってんだろ？」などの語尾表現、こどもが理解できない言葉を話す→「徹底しましょう！」「整理整頓してください」「寒い？じゃあ空調調節してくるね。」等

④**視覚的支援の原則**：実物やイラスト、写真や文字等を示す

例：転がしドッチボールの全体図（同時処理のお子様）、転がす・避けるイラスト（継次処理のお子様）

注目を引くための方法

①一斉指示のユニバーサルデザイン8原則



⑤**具体的操作の原則**：子どもが動作や操作をその場でまねる等

例：ボウリングで「投げる」という意味を知るために、転がす動作をやってみる

⑥**復唱確認の原則**：指示を復唱する場面をつくる

例：「1回しか言いませんので良く聞いてください」は原則使いません

⑦**反復練習の原則**：一度で身に付くことばかりと思わない

例：ボウリング・ストラックアウトなどの狙って遊ぶ運動遊び、はさみ・のりなどの微細運動遊び

話をイスに座って聞く、指定された順番で実施する

⑧**即時対応の原則**：指示通りに進まない場合にはもう一度説明を

例：意図していなかった行動をこどもがとった時には、一度流して振り返りの時間を設ける

注目を引くための方法

①ユニバーサルデザインと合わせて…



Q.ユニバーサルデザインの8原則を組み合わせることはとっても大事なことです…実際の現場において、一斉指示を出すことが得意な人／上手な人はどのような人なのでしょうか？

注目を引くための方法

①ユニバーサルデザインと合わせて…



- ・一斉指示が上手な人は…話が上手な人、ではありません。声が大きい人でもありません。男性・女性も関係ありません。**【こどもの認知特性に合わせて、『情報量』を設計できる人】**です。
 - ・今、全体に向けて話しても伝わるだろうか…？
 - ・そもそもこどもは集団へと気持ちは切り替わっているか…？などのセンサーを働かせながら話します。時間は限られていますが、「待つ」ことも必要です。
- ★この人の話を聞くと、自分(こどもたち)にとって良いことがありそう、楽しいことが待っていそう、ちゃんと見ててくれるな！という**日頃からの関係性が重要**になっていきます。

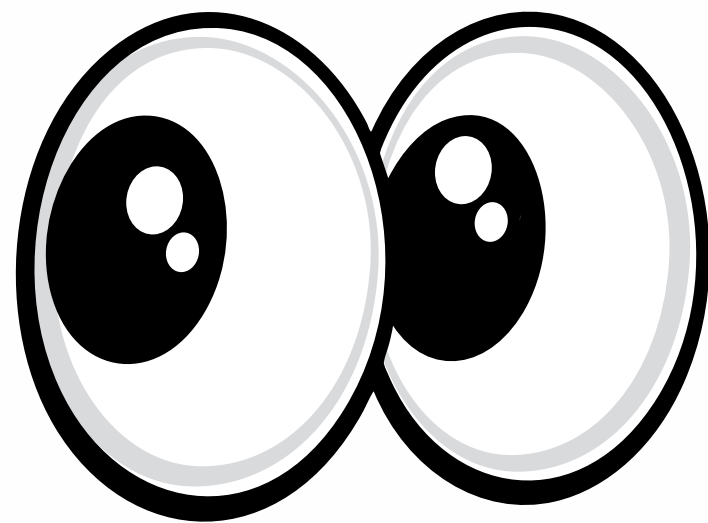
注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる

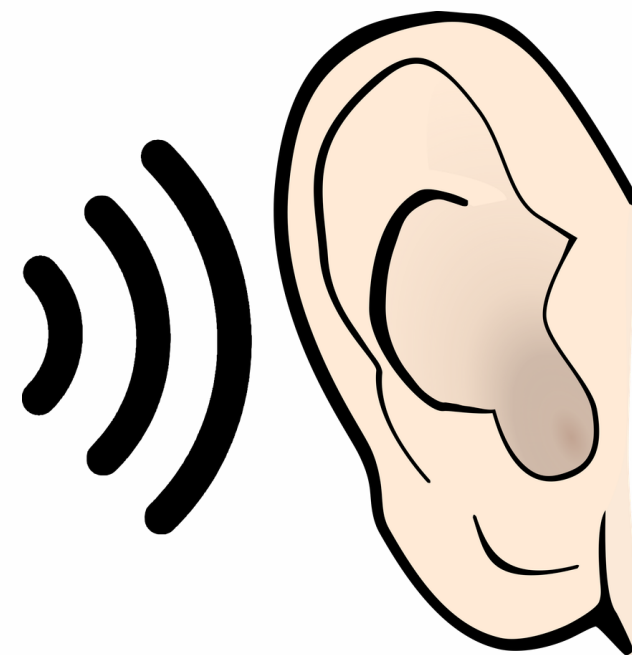


- ・人には、それぞれどのように物事を認知したり、理解したりするのかについての特性を持っています。これを【認知処理特性】と言います。

視覚優位



聴覚優位



体感覚優位



注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる



- ・また、どのように理解し、情報を整理するのかについても処理方法は大きく2つに大別されます。

	手がかり	得意	不得意
同時処理	身体的・視覚的 全体的・関係性	・活動／課題の全体像や目的が明確だと取り組みやすい ・視覚的な手がかりで他のものとの関係性がわかると学びやすい	全体像が見えないまま細かい話を長々と聞かされることに苦痛を感じる
継次処理	言語的・聴覚的 段階的・時間的	・細部の情報を順序立てて積み重ねていくと全体像が後から分かる ・1つ1つステップを踏みことで、安心感・納得感を持って進められる	順序なく複数の情報が一気に入ってくると混乱する

注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる



このような処理の仕方がある中で、どうしても目で見える情報というものは欠かせません。医学的な根拠はありませんが、日常生活において視覚からの情報は実に80%を占めていると言われています。ですから、同時処理的であれ、継次処理的であれ、効果的に視覚支援を取り入れていくことは児発・放デイにおいては重要なことです。では、次のページでは、それぞれの認知処理特性に応じた視覚支援、を考えて行きます！

注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる



Q.以下のプログラムを進めるにあたって、どんな視覚支援が必要でしょうか？

(同時処理タイプのお子様には？ 継次処理タイプのお子様には？という観点で考えてみましょう！)

調理プログラム（健康・生活領域：食を営む力）

メインテーマ：ホットケーキを作ろう！

材料：卵・牛乳・ホットケーキミックス・メープルシロップ・チョコレートソース・カラスプレー

※お子様には、材料をボウルに入れてかき混ぜてもらいます。

※ホットプレートで焼き、ヘラでひっくり返すのもやってもらう予定です。

注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる



Q.以下のプログラムを進めるにあたって、どんな視覚支援が必要でしょうか？

(同時処理タイプのお子様には？ 継次処理タイプのお子様には？という観点で考えてみましょう！)

同時処理タイプのお子様向け



注目を引くための方法

②視覚支援を効果的に用いる



Q.以下のプログラムを進めるにあたって、どんな視覚支援が必要でしょうか？

(同時処理タイプのお子様には？ 継次処理タイプのお子様には？という観点で考えてみましょう！)

継次処理タイプのお子様向け

①



②



③



注目を引くための方法

③提示物を出すタイミング



例：クリスマスカード工作をリードする

- ・ お集まり／始まりの会で説明する

こどもにしてほしい物だけ渡す！

- ・ まずは、カードの土台を渡す
- ・ 絵を描くためにペンを渡す
- ・ イラストをはさみで切るためにはさみを渡す
- ・ 飾りをのりで貼るためにのりを渡す
- ・ 仕上げのリボンを渡す

※ 「やっぱりまだ描きたい！」を保証する声掛け「もっと描きたかった」という人は、先生に教えてね♪



注目を引くための方法

③提示物を出すタイミング



例：粘土あそびやスライムあそび、色水あそび（感覚あそび）をリードする

- ・全ての道具を**いっぺんに出す**方法
- ・最初にピークを持ってくる
- ・たくさんの中から、こどもたちが自分で選択できるよう環境設定する
- ・遊ぶ場所と道具を貸し借りする場所をあらかじめすみ分ける



- ・ **ひとつずつ小出し**にする方法
- ・ まずは紙粘土だけ出す
- ・ 次に、「こういうのもあるよ！」と言って、違う色や材質の粘土を出す
- ・ 「これ、使ってみたらどうなるかな？」と言って、道具を出す
- ・ 「最後に、これ、出しちゃおうっと！」と言って、段ボールやプラスチックカップなどを出す
- ・ こどもがなんとなく手持ち無沙汰になっているタイミングを見計らう

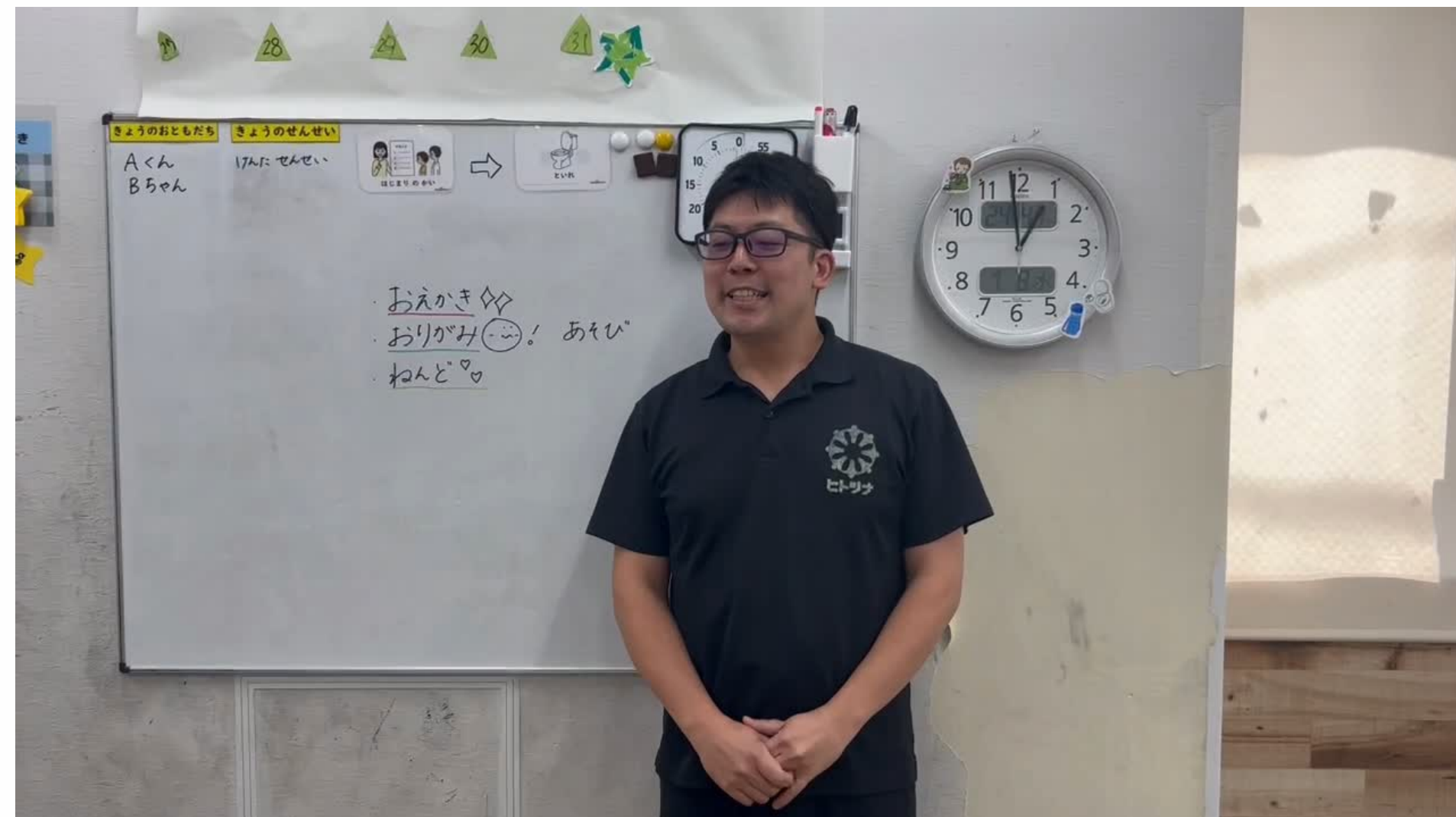
注目を引くための方法

④望ましい声掛けをベースに話す



例：先生がこのようなはじまりの会をしました。

Q.みなさんが、こども（聞き役・参加する人）の立場でどう思うか感想を伝え合ってみてください。



注目を引くための方法

④望ましい声掛けをベースに話す



・こういう時、ありませんか？

はじまりの会などで説明している時に、「やんねえ。」「〇〇先生、つまんねえ。」と言われること…😭😞（結構グサッと来ますよね…そして、ついその子に向けて注意や皮肉を言いたくなる時、ありませんか？（私はあります💧））



「つまらない」という表現しか知らない可能性があります。

・実物を提示すると、しれっと参加していたり、みんなが遊んでいるのを見て、「ああ、なるほど、これならやってみよう」と切り替わる可能性もあります。たまたま、その子がこのタイミングでは話を聞くことが苦痛だったかもしれません。

すぐできる実践！

①最初に身体を動かす

・ジャンプを入れた活動／引っ張る・押す遊び／サーキット遊び／片足バランス
などで覚醒を整える＝はじまりの会のどこかで計画する

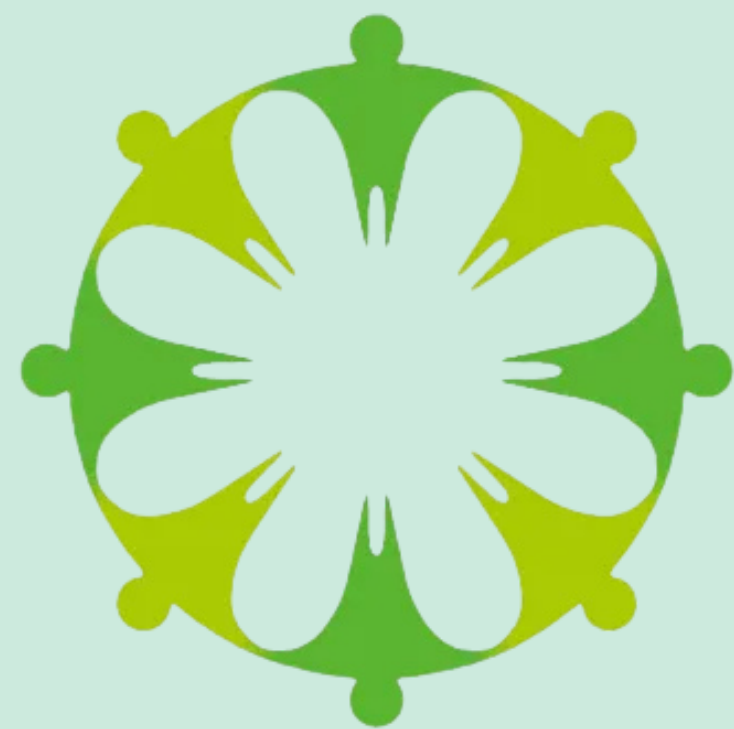
②指示は短く＝「立っていないで座ってー」→「座ります。」（否定文を用いない）

③視覚支援を使う＝今何しているの？を減らす。リードからの口頭指示を減らす。

④「座る」にこだわらない＝立って聞いている、クッションを持ちながら、集団の後ろにいる等

⑤参加のハードルを「やる」「やらない」の2択にしない＝参加の余地を常に残す

（見学する・手伝う・点数役をする・別の方法で挑戦する・後で個別でやってみる）



**ケース検討をしてみよう
～主体的な参加を目指し
て～**

- ・ **メインテーマから、リードの展開について話し合しましょう。**

メインテーマ：夏祭り(スーパーボールすくい・射的・かき氷)

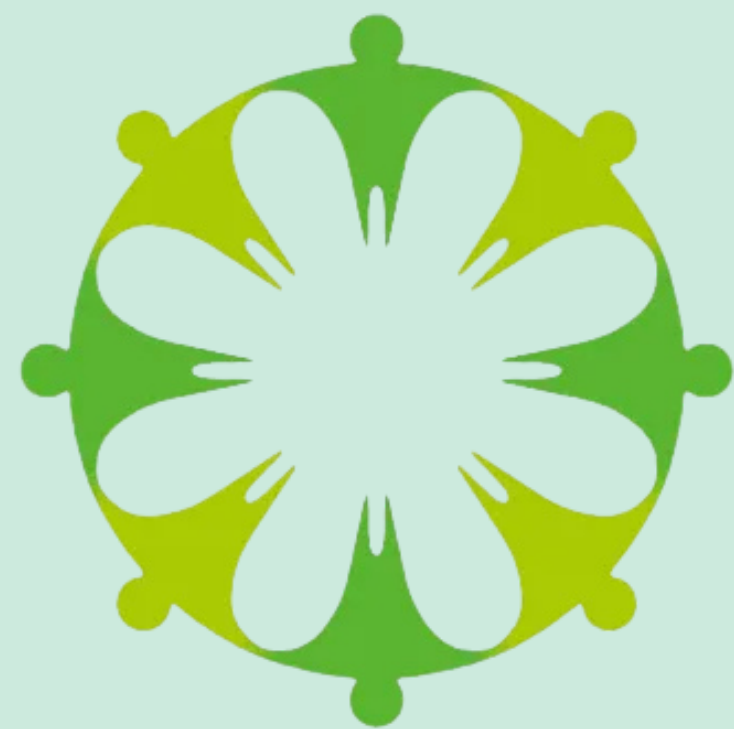
【わかっていること】

利用者人数：放デイ7名or児発6名（どちらか選択してください）

- ・ 利用者のうち「ルールを説明する時に寝転がったり、離席がある」子が出席する予定である。（児発・放デイともに上記課題のお子様がいる想定）

【話す観点】

- ・ どのような視覚支援をはじまりの会に提示しますか？
- ・ ルールを説明する時にどのように配慮すべきですか？
- ・ 該当児童は「○○かもしれない…」を15、16ページで話し合ったことをもとに想像してみてください。
- ・ 最終的にリードがどう話を展開するかまで、想像しながら話し合いをお願いします。



おわりに



**「できない子」 なのではなく、
【参加しにくい環境に置かれて
いた】 と考える視点を持つこと**

それが分かるきっかけになるの
は、自由時間を通して子どもた
ちと遊んで関わり、信頼関係の
構築が必要です！

